

## 小学校 算数 第5学年 領域・単元等 「割合」

### 1. 作成の趣旨

割合の学習で、数量の関係を図や式に表したり、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べたりする力を身に付けることをねらいとして、本問題を作成しました。

#### 【関連する学習指導要領の内容】

- 百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めること。〔知識・技能C(3)ア(イ)〕
- 日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かすこと〔思考・判断・表現C(3)イ(ア)〕

### 2. 活用場面等(例)

#### 例1【割合の意味を確認する問題として】

〈啓林館11月頃 東京書籍1月頃〉

#### 例2【基準量や比較量、割合の比べ方を確認する問題として】

〈啓林館11月頃 東京書籍1月頃〉

#### 例3【単元終了後の定着の確認や、「帯グラフと円グラフ」のレディネステストとして】

〈啓林館1月頃 東京書籍2月頃〉

#### ⇒活用後について

- ・定着が不十分な場合は、日常生活と関連させたり、図に表したりすることで、具体的に「基準量」「比較量」「割合」をイメージできるようにしましょう。
- ・「帯グラフと円グラフ」の単元においても、何を「基準量」「比較量」としているのかを説明する活動を設定しましょう。

### 3. 「割合」の学習における授業の充実に向けて

○日常の具体的な場面に対応させて割合を捉えさせるようにしましょう。

例 飲み物の量に対する果汁の量の割合は、飲み物の濃さを表していることを理解させるために、飲み物を分けても飲み物の濃さは変わらないことを想起させる、等



○ $(\text{基準量}) \times (\text{割合}) = (\text{比較量})$ などの言葉の式だけではなく、図をもとに数量の関係から比較量を求める式を立てるようにしましょう。

○図で表した関係を式に表したり、式に表した関係を図に表したり、図や式の意味を言葉で説明したりする活動を設定しましょう。